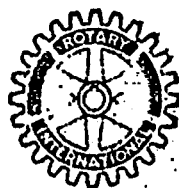


事

1967 ~ 1968 (42年度)

委員会活動報告書



鹿児島西ロータリークラブ

1968. 6. 13

会長報告

会長 島津忠丸

本年度は当クラブにとっては、過去5年間を通じてはじめての多忙な年であった。全般的に云えることは、対外的な諸行事にエネルギーを奪われて、内部的なロータリー活動がいささか不活発であった。一カ年であった。

加法木クラブの結成により、その育成援助、オゾ国インターアクト連絡協議会、当クラブの創立5周年記念式典の挙行、果下ロータリークラブ新会員懇話会、加法木クラブのチャーターナイト等、何れも当クラブの問題として、或いはホストクラブとして活躍し、多大のエネルギーを注入したことが注目される。

一方、内部の面に就いては、会員が年々当初から転任或いは病気のため、相次いで退会し、年々当初の増加目標5名はおろか、逆に減少になってしまった。この影響は収入年算の減となり、一方、支出面では前記の行事、特に5周年記念に関係する支出が増大し、結果として、丁代会長幹事の方々の努力による繰越金を減少しなければならぬことになった。この真、会員各位のお許しを願いたいと思う。

要す3に、本年は5周年記念事業として、各委員会活動を吸収し、インターアクト連絡協議会にせよ、加法木クラブの育成にせよ、すべて5周年記念行事の一端として行なわれ、しかも之等の行事は、会員協力の成果として完成され、見事に結実したもので、誠にうれしいことであつた。

幹事報告

幹事 安楽慶一郎

1. 本年度会員数

- (1) 初頭会員数 46名
- (2) 退会員 4名 (内1名は一時退会)
- (3) 入会員 3名
- (4) 差引現在会員数 45名

2. 出席率 (42.7~43.5) 99.77%

3. 予算

本年かう編成要領を改め、目的毎に区分した。

奉仕活動予算がクラブ全体に占める割合は11.5%である。

4. クラブ内会合

- (1) クラブアツペンブリー 5回 (6月13日を含む)
- (2) クラブフォーラム 2回
- (3) 炉辺会合 2回

本年度は特別行事が多く、之が準備、実施、整理に追われて、クラブ内会合は十分とは云えなかつたが、特別行事の準備会合を通じ、上記に記録をしない多くの収めがあつた。

5. 特別行事

次の行事をホストクラブ(H) 或いはコホストクラブ(CH) として実施した。

- (1) 予370区 インターアクト連絡協議会(H)
昭和42年8月18日 於 鶴丸高校
- (2) 当クラブ創立5周年記念行事
昭和43年3月23日 於 ホテル鶴鳴館
- (3) 予32回 鹿児島県内9クラブ会長幹事会(H)
昭和43年5月9日 於 ホテル鶴鳴館
- (4) 鹿児島県内9クラブ新会員懇話会(H)
昭和43年5月19日 於 ホテル鶴鳴館
- (5) 加治木ロータリークラブ「認証状授与式」
昭和43年5月26日 スポンサークラブ
- (6) 予373区予1回地区協議会(CH)
昭和43年6月9日 於 ホテル鶴鳴館

6. 共同事業

次の行事を他クラブと共同で行まつた。

- (1) 交換学生受入委員会
之は来年も継続される。

(2) 県内7クラブ社会奉仕共同事業
之は本年限りで打ち切られる。

(3) 県内7クラブ親睦ヒンポン大会
之は次年度につき優勝クラブの鹿児島R.Cで検討の上提案される。

(4) 地区関係等 (省略)

会計報告

会計 西郷隆永

1. 今年度は一般経費の増加に鑑み、年会費を4,000円引上げましたが、各委員会のご協力により、当初予算の範囲内で活動を活発にこなし、夫々成果を挙げられました。しかし、主として5周年記念行事のための特別の支出増加がありました結果、繰越金は若干ですが、前年度より減少致しました。
2. 予算の運営については、毎月正確を期してチェックしてまいりましたが、最終的な収支報告は6月末の年度終了後改めて会計報告申し上げます。
現在迄の収支報告は別紙のとおりであります。

クラブサービス報告

会務担当 藤安辰造

1. 本年度は出席、職業分類、会員選考、プログラム、会報雑誌、親睦、広報、ローター情報、及びS.A.Aの各委員会の縦横の連絡を回って各委員会の活動と活発にして、クラブ活動の向上を図ることを目的に、毎月一回各委員会毎の会合とし、その委員会での問題を各委員長会で取り上げ必要案件を理事会に提案し、可決された事を実行してゆく事にしたのであるが、諸般の都合で僅か2回しか行なうことが出来なかったのは遺憾であります。
2. 出席率の向上については、昨年より本年は出席率が向上した。之は会長、幹事のお力添えは勿論、出席奨励委員会の方々の協努力及び会員皆さんの自主性と協力の賜であって、感謝に堪えません。
3. ビジターの数は昨年度は7月～6月で946名でありましたが、本年は7月より6月迄で941名で、本年は残りまだ2回の例会がありますので、本年は昨年の実績を突破する事は確実であります。之も、S.A.A、親睦委員会及びプログラム委員会又、会員皆さんが我がクラブの明るい家庭的な雰囲気や、ビジターが来易いような努力を以て気をつけて下さった事が成功の原因であろうと思います。

4. 会員とふやす件でありますが、本年度の当初の会員数は46名。それから後、入会者3名、退会者4名、現在45名であつて、会員は減であります。之は何分我がクラブは地域が狭いので、人材と得る事が困難であり、又、区域限界が前よりも一層嚴格になつたため、会員の獲得が出来なかつたのが大きな原因であると思ひます。近く今まで会員の資格の一つに区域限界の中で事業と行なつて居る者というのが、今度その中に居住する者でもいいという事になりましたので、大分会員の所在場所が広くなります。どうぞに当りの方があつたら入会の勧誘として下さい。

出席奨励委員会報告

委員長 岡山 栄
委員 川路 清高
" 河井 時義

会員の自覚と各委員会の皆さんの協力により、5月までの例会の出席率は99.77%という良い成績を示しました。年間100%の理想は達成出来ませんでした。出席には何かしら相当な理由があるように思われますので、概ね満足すべき状態だと信じます。

唯、公式会合等への参加態度についての努力が足りなかつた点を深く反省しています。

職業分類委員会報告

委員長 光吉正昭

委員 桜美四郎

1. 職業分類別一覧表を作成、会員全員に配布し、未充填部門の周知徹底を図り、同時に会員選考委員会と協力して新入会員の詮衡に当った。
2. 昭和42年9月7日 福岡でのリーター・エッブ・フォーラムに出席、その内容を会員に伝達した。

会員選考委員会報告

委員長 塘 一郎

委員 岡元健一郎

” 土橋英夫

基本方針

1. 他の委員会就中 職業分類委員会との連絡を密にし、未充填職業分類を充填するために、適当な人を理事会に推薦する。
2. 会員の選考に当っては、情実を排し、厳正を旨とし、その人と成りに重真を置いて、個人の品性と出席可能性を重視する。
3. よして調査、判定の結果を理事会に報告する。

実績

残念ながら本年度は実績らしい実績はなかった。

プログラム委員会報告

委員長 新福 栄能
委員 飛田 俊夫
" 増竹 成紀

1. 基本方針は

奉仕の精神に沿い、クラブの方針を織り込んで、全員が喜んで喜ぶようなプログラム編成に努力する。

内容はバランスとバリエーションを保ち、品格、有益、親和感のあるものとする。

このためクラブの役員、各委員長、会員と密接な連絡を保ち、卓話者の同発をはかる。

と云うことであつたが、プログラム委員としては、この基本方針に沿って忠実に実行したことを報告する。

2. 計画は

(1) 例会の年額は、ゲスト 50%、会員 30%、映画 20% で実施した。

(2) 予定の例会より、少くとも 1か月前には卓話者の選定を完了して来た。

3. 反省

(1) 卓話者の卓話内容は、予め 400字~600字位の原稿用紙を卓話者に渡し、卓話当日その梗概を記録したものを提出して貰つたらよいのではないかと考へる。

(2) 卓話の内容・題目、卓話者の選定等は、会員全体より書面で記録して貰ってプログラム委員に連絡して載せたい。

卓話の実績

月日	ゲスト卓話			会員卓話	
	題目	職業	氏名	題目	氏名
7.6				クラブアッセンブリー (郵公省、祥林社、郵政委員会の方針等)	
13	火山と防災	村松火山観測 出張所長	吉川圭三		
20				改正税法について	岡山 泰
27				クラブフォーラム (青少年奉仕部門)	
8.3	日本の印象	鹿大夏期講習にて 日本文化研修中	ロバート・タガット ミセス・リード ミス・コトシ		
10	内村鑑三先生 の手紙	弁護士	松村伸之助		
17	趣味の水石について	鹿大水石会員	片岡八郎		
24	薩摩魂について	京工専 教頭	若松大助		
31	シル・ロードの 遺跡について	鹿短大助教授	長沢和俊		
9.7	(映画) アメリカの 若い農家	京銀提供			
14				リーディング・フォーラム 出席 (会報、要り、有志) 報告	
21				観月家族会 (破公園)	
28				クラブアッセンブリー (公文訪問前)	
10.5	黒島診療の話	京大医学部講師	尾辻義人		
12	公文訪問に際して	初代会長	向笠広次		
19				ヨーロッパのショーウィンドウ	久保田秀穂
26				インターアクト報告	高井敏治
11.2	最近の社会情勢と ロータリーの考え	社会福祉事業家	久永光一		

11. 9	奄美大島の海中公園	糸大理学部教授	平田 国雄		
16				ロータリー献金園遊会 について	安藤 康一郎
30				任職年次大公生考報告 (鹿田)	
12. 7	現下の交通情勢と 交通平政対策	鹿警憲署 交通官 警視	重 勝郎	クラブフォーラム (職 業奉仕について 岩印、右田両君の録音テープ)	
14				海外旅行雑感	佐伯 延太郎
23				クリスマス 家族会	
28				いけはなの流氷	柴山 一雄
1. 4	明治百年を迎えて	名誉市民	勝目 清		
11				クラブアッセンブリー (上期実績検査及下期計画)	
18	琉球の政治家 向象賢について	鹿島短大教授	虎頭 民雄		
25				クラブアッセンブリー (経理事務の上期報告及下期計画)	
2. 1				明治百年記念雑話	鼓島 大吾
8	明治百年に思う	鹿好高校長	芳 即正		
15	(映画) 豊か な暮らし	鹿銀提供			
22	現下の学生運動 について	糸地方公安 調査局長	成合 初雄		
29	国鉄の近代化 について	糸鉄道管理局長	佐々木 治文		
3. 7				年次総会	
14	薩英戦争後の イギリスと糸	糸県教育庁 指導課 嘱託、英語教師	ジョン・B. ストックカー		
23				創立5周年記念祝典	
28	(映画) 中立国の国防	自衛隊提供			
4. 4	明治百年記念祝典 に当って	糸県明治百年記念 評議委員会事務局長	山下 巖		
11	今年の景気について	日銀糸支店長	三宅 圭作		

4. 18	電子計算機の 利用について	慶大 教官	真田克彦		
25	日本海を戦いおける 天祐神助	記念艦 三笠艦長	福地誠夫		
5. 2	留学生の目を通 したアメリカ	慶短大 講師	浦上洋子		
9	奈良の果樹系系 園芸について	奈良農政部 果樹園芸課長	湯地信夫		
16	洋画と奈良県	奈良大 教授	岩下三四		
23				色紙調節について	塘 一郎
30	(映画) にっぽん 拝見	奈良銀 提供			
6. 6	南の動物	奈良大 教授	林田重幸		
13				クラブ・アッパフリー (各委員報告 1年間の反省)	

広報委員会報告

委員長 岩田太一
委員 牧田健二
" 光安善雄

大体に於いて当初の計画通り遂行された。

クラブの活動、行事に因り、マスコミ機関に報道資料を
提供して、度々新聞に報道された。

又、創立5周年祝典、新会員懇話会等に報道関係
者を招待して、ロータリークラブの精神と活動に対す一般
社会の認識と理解を深めることに努力した。

親睦委員会報告

委員長 岩元 正二
委員 小山 幸義
" 米倉 秀雄
" 神山 光政

1. 毎月第一例会日に、その月の該当者に誕生祝、結婚祝を贈り、誕生者に対しては、全員でバースデーソングを唄って下さる。
 2. 昨年9月2日午後6時より 磯公園において恒例の観月野外パーティを開催した。(参加者97名)
 3. 11月11日 吉野ゴルフ場において、第3回 西R.Cゴルフ大会を開催した。(参加者8名)
 4. 12月23日 鶴鳴館において、クリスマス家族会を鶴丸高校I.C会員と交えて開催した。
 5. 3月23日 吾クラブ創立5周年記念祝典に家族も出席。余興として フランキー堺氏出演。福引等して家族に喜んでいただいた。
 6. 4月26日 県下RC親善卓球大会に参加(6名)
惜しくも一回戦に敗れたが、勝敗は別として、親睦の上で大いに意義があったと思う。
- 以上で、会員及び家族間の親睦を少しでも深めることが出来たと思う。

ロータリー 情報委員会報告

委員長 栗川久雄
委員 衛藤右三郎
" 倉園清市

基本方針

1. 新会員がロータリーを理解し、ロータリアンとしての責務を自覚するよう助言する。
2. ロータリーの歴史、綱領および活動に関する資料を会員に提供して、奉仕への意欲をかきたてる。

業績

1. 新会員には入会前に面接して、定款の要旨を説明するとともに、ロータリーを理解するための、有用な情報源となる各種文献の存在を説示した。
2. ロータリーを理解する情報源となる文献で、当クラブに不足しているものを補充した。
3. 歴代R.I.会長の指針を印刷して会員に配布し、学習した。

反省

1. 会長幹事をはじめ他の委員会との連絡が消極的であった。
2. 文献の渉読、情報の提供が不十分であった。

会報. 雑誌委員会報告

委員長 久保田 考穂
委員 川村 洋
" 林 幸光

1. 週報を毎週発行して113.
2. 創立5周年記念特集の会報発行がおくわてしまいました。現在準備中ですので、近日中に発行できると思っています。

S. A. A 報告

S. A. A 高田 光義
副S. A. A 伊東 則生

1. 会場について。

例会に訪問者の数が時々非常に多いことがあり、従来の会場では手狭く覚えることがある。隣室の広い会場を使用した際は、会場が広く、ゆったりとして例会の雰囲気も一層品位のあるように感じた。

会場の設営について充分に心掛けておかねばなりません。

2. 例会開始前のピアノの演奏について

例会開始前にピアノの演奏がかなでられていくことは例会の雰囲気を和らげることに効果があります。演奏の方にお願いをしたい。

3. ニコニコ箱について

親睦委員会の協力によって5月末までに109,695円となり、目標予算を上廻りました。

職業奉仕委員会報告

委員長 久保 政 次
委員 田平 礼 章
" 徳田 基
" 岩 元 健 吉

本年度はクラブ創立満5年に当たったので、職業奉仕とは何かを再びふりかえって考えてみることにより、各人がローリアンとしての職業意識に一層徹底するよう、手だすけすることをもって、活動の主眼とした。

1. 向笠がバーのおすすめもあり、宮崎クラブの岩切省太郎氏の職業奉仕観についての対談録音テープを例会で聞いた。

1. 新入会員に対し、職業奉仕について早く理解して貰うための話し合いを行なった。

1. 新会員懇話会の席で、命ぜられて職業奉仕についての初歩的な解説を行なった。

1. クラブ創立5周年記念の一環として、児童、老人の福祉施設の第一線にある優良職業人を5名表彰した。

1年をふりかえってみて、職業奉仕活動の難かしさをつくづく痛感した。

なお、研修を兼ね、優良職場の見学を実施する予定で
したが、その機会がなかったため、次年度で実施し
ていただくようお願いいたします。

社会奉仕委員会報告

委員長 佐伯 延次郎
委員 名越 時秀
" 黒木 長太郎

(基本方針)

所属地域社会をよく知り、何が最も切実に要求さ
れているかを発見し、当ロータリーが、これに対処し得る
可能性を検討して、やれば出来ることから実行していく
ことにより、地域社会の改善向上のために奉仕したい。

尚、この際、それぞれの分野に関係ある諸団体との
協力についても、じゅうぶん考慮すること。

(業績)

佐賀、長崎水害見舞金、えいの地震義捐金をおくる。

歳末たすけ合い寄付、県下合同奉仕負担金支出。

交通安全運動へ協力。

平川、海の上子供会にロータリー賞贈呈

比島戦没者遺骨収集並いに慰霊碑建立期成会への援助寄付。

(その他)

身体不自由者のための諸施設に勤務する職員に対する

激励と感謝。献本運動への協力。地域美化運動への協力
等も計画していたが、業績として特記すべきものはない。

青少年奉仕委員会報告

委員長 高井 敏治
委員 幸泉 芳良
" 高網 博明

1. オ370区インターアクト連絡協議会 オ3回のホストクラブ
として、同大会とすますこじができた。
2. 鶴丸高校インターアクトクラブの育成。
3. 鶴岡西高校インターアクトクラブ/会員2名を本クラブ創立
5周年記念祝典に招待した。
4. ワンダフォーゲル運動へ協力した。

国際奉仕委員会報告

委員長 福田 敏之
委員 浜田 馨
" 春山 ジャスティン

1. 日米高校生2名と鹿野島ニクラブ合同により、交換受入
水のために、交換学生受入委員会を設けた。
2. 韓国元がハニー 金永韶氏の法来訪の機会に歓迎
懇話会を行なった。

3. 亜細亜大学夏期講習会に出席のアメリカの教師を例会に招いて、卓話「日本の印象」を語ってもらった。

4. 中国留学生2名を親月家族会に招待し、親善を深めた。

5. 世界社会奉仕として、韓国に苗木を送った。

夏松金 15,480円 (1人1ドル)

6. 370区内交換学生の地区内旅行に当り、6名をクラブ例会に招待した。

7. クラブ創立5周年記念祝典に交換学生1名を招待した。

8. 昭和43年秋、日米交換高校生の旅費を亜細亜三クラブ合同で引継ぎ実施することを決定した。

9. ロタリー財団に100%寄付している。